

「はるがきた・どきどき」

「はるがきた・わくわく」

暖かい春の日差しに誘われるように
園庭に出てきた4歳児のKちゃんと
Lちゃん。



Kちゃん。
アランコしようよ。

うん！
一緒に行きよう。



あっ！
Kちゃん。
見て、見て！

わあ！
たんぽぽだ。
かわいい！



ほら！
たんぽぽ咲いたよ。

わあ！ほんや。
どこに咲いた？

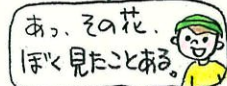
春を見つけた喜びが、クラスの友だちにも
とんとん広がっていきました。



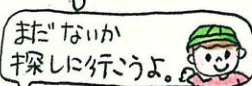
ほら、むらさきの
花も咲いたよ。



おかあさんに
もってあげようっ！



あ、その花。
ほく見たことある。



まだないか
探しに行こうよ。

3月の風やお日さまの日差し、草花の芽吹きが
子どもたちに春の訪れを知らせてくれました。

みんなで春の歌を歌っていたら、
冬の間、目にするここのなかった
園庭の虫のこびが気になってきた
子どもたち。

はるがきた



ぞういば...
タシゴシ

ぞういば...
ハッター。



虫探しに
行きようよ。

うん。
行きよう！

さんせい！
早く行きよう。



草の中に
おらん。

子どもたちは張り切って園庭に
出たのですが、虫を見つける
ことはできませんでした。

石の下は
どうか？

おらんね...



まだ風とか
冷たいからかな。

うん。
もう少し
あたたかくなって
からやね。

わいわい
がやがや



もっと草が
伸びてから
やわ。

ぞうだ。
虫が
用意せんなんね。

うん！

春への期待に胸をふくらませながら
友だちや保育士と会話を弾ませる子どもたちの
元気な3月の姿に成長を感じさせ
られる場面があちこちで
見られました。



先生、
何してるか？

あのね、
雪つりを
はずして
るがよ。

そうか、雪
重くない
もんね。

春やね。

さっぱり
したね。